

共同生活援助花音（グループホームルピナス）

地域連携推進会議 議事録

- 1 開催年月日及び時間 令和8年2月4日（水） 午後2時～3時40分
- 2 開催場所 ルピナス2 リビング
- 3 出席者 上条榮子 岩瀬自治会副会長
吉川郁子 松戸市中央機関相談支援センターCOCOセンター長
江波戸達郎 特定非営利活動法人L I F A C T代表理事
青柳孝 社会福祉法人松里福社会 第二わかば園施設長
稲垣愛奈 利用者
石村久美子 利用者家族
柳町美恵子 ルピナス施設長
手代木彩夏 ルピナス生活支援員
- 4 開会の挨拶 柳町施設長から開会の挨拶があった。
- 5 出席者紹介 8名の出席者各人自己紹介をされた。
- 6 施設概要説明 柳町施設長より説明があった。
 - ・社会福祉法人まつかぜの会の法人概要
 - ・共同生活援助花音の基本方針について
 - ・グループホームルピナスについて
- 7 施設見学 ルピナス1（1階）とルピナス2（2階）の見学と説明
- 8 議題
 - 1）施設やサービスの透明性・質の担保
以下について柳町施設長から説明があった。
 - ・利用者の日常生活の様子について
利用者の日常について、1日及び1週間、ひと月の様子など利用者の生活について説明があった。
 - （柳町）愛奈さん、ルピナスの生活で困ったことなどありますか。
 - （稲垣）ないです。ルピナスに帰ったらすぐにお風呂に入ります。自分でお湯を入れることができます。洗濯をします。小袋にはいった洗剤を入れてボタンを押して、終わったらお部屋に干します。
 - （吉川）愛奈さん、ルピナスで楽しいと思ったことなどありますか。
 - （稲垣）皆といるから楽しい。3人で一緒に歩いて豆のちからに行きます。豆のちからでパンを作るのが楽しい。
 - （柳町）愛奈さんはGHに入って少しずつ自信をもって出来ることが多くなったようです。ひとりで外出するのがとても苦手でしたが、今は豆のちからに通うこと、またご自宅まで電車・バスを乗り継いで行くことができるようになりました。またコンビニ買い物もできるようになりました。

- ・BCP（業務継続計画）の策定状況について

自然災害発生時における業務継続計画及び感染症発生時における業務継続計画は、令和6年3月27日策定しており、それぞれ年1回から3回の委員会や研修を行っている。

- ・経営状況の報告

定員8名のところ現在6名入居されている。

短期入所は月7名（延べ月15日稼働）

短期入所の利用促進を図りつつ入居者確保に努めているもののなかなか入居に至らない故に運営資金が不足しているのが現状である。

（吉川）現在6名入居者となっている方全員まつかぜの会の日中事業所に通所されているとのことですが、それ以外の方は入れないのですか。

（柳町）そうではありません。当法人の家族会からの強い要望もあり開所したので、現在まで全員が当法人日中事業所の利用者ですが、令和2年コロナ過のなかでの開所でしたので当時見合わせる方も出てきました。その後短期入所の方も増え、当法人外の方も多くご利用いただいております。

2) 施設と地域の連携

- ・障害について

（柳町）現在入居者の障害ですが、ルピナス1は男性2名、知的障害1名と重複障害（知的、精神）1名。ルピナス2は女性4名知的障害（自閉症2名、ダウン症1名、知的1名）です。それぞれ特徴的な個性はありますが生活においては落ち着いて過ごされています。

- ・近隣からの苦情について

（柳町）開所して6年になりましたが、近隣からの苦情はありません。

- ・地域行事等について

（柳町）利用者全員が当法人日中事業所に通所しており、豆のちから、みらいずでは地域の行事やイベントに多く参加しております。これからはGHルピナスとしても(出)回開所日などに予定をたて地域行事等に参加していきたいと考えております。

（上条）私が携わっている岩瀬自治会ではいろいろイベントを企画し開催しています。そして毎回楽しみにしてくださる方が多くなってきました。障害のある方も来ていて、みんなでワイワイやっているなかで顔なじみになっていきます。ルピナスにご案内を出しますのでも是非参加してください。

3) 利用者の権利擁護

- ・虐待、事故、ヒヤリハットの報告

（柳町）報告はございません。

- ・支援者の様子

（柳町）現在、生活支援員1名、世話人7名（夜勤者、パートを含む）の支援者がおります。食事の提供、健康管理、相談、入浴支援など様々な日常生活の援助を行っています。

利用者の安心、安全な生活を提供するため、情報共有と意識統一を図り連携して支援を行うように指示し、支援者全員努めています。

・トラブル発生時の対応

(手代木) これまで大きなトラブルはありませんでした。利用者間の困りごと、例えば「おはようと言ったけど無視された」など訴えてくることはありますが、双方と支援員が話し合うことで納得し解決したということはたまにございます。

(柳町) 事故等のトラブルが発生したら、まず命を優先した対応をとると共に、県・市・家族等へ連絡することとしております。現在までその報告等は発生しておりません。

9 意見交換

(上条) 今日は、障害のこと、グループホームの生活のことなどいろいろ聞くことが出来て勉強になりました。私が自治会の活動を通して障害を持つ方たちとも接することがあり、今日参加させていただき改めて共生社会ということ、地域連携がいかに大事かということを知ることができました。

(青柳) 平日に発熱など急病の利用者がでたらどのような対応をとられるのですか。

(柳町) そのような時は体調が回復するまでルピナスで日中も過ごされます。コロナ過もそうでしたが、ご家族に連絡して希望により帰宅される方もいましたが、ほとんどGHで生活されていました。日中支援は生活支援員と世話人が交代で行い、生活支援員が通院に付き添っていきます。

(江波戸) 防災関係のことですが松戸市にも、災害時に一人での避難が難しい方のために「避難行動要支援者名簿」がありますが、届け出を出されている方はいますか。

(石村) 私は息子のために届出書を出しています。でも、その地区の担当者がいるのでお知らせいただけるとのことでしたが、いまだに何の連絡もないのが不安です。

(江波戸) それは家族としては不安ですよ。

(青柳) プライバシーのこともあるので、家族構成など書くことに抵抗を感じている方も多いのではないのでしょうか。

(吉川) 今日はお伺い出来てよかったです。GHルピナス見学はぜひしたいと思っていました。プライベートにも配慮されたうえに利用者さんが生活しやすいように設計されていて、また日常の生活の様子など伺うと、稲垣さんが皆といるから楽しいという言葉で表現されているのはなるほどと思いました。

(石村) 親としてGHルピナスが地域の方たちと良い関係を持ち、温かく見守ってくださるのはうれしいことと思っております。これからもよろしく願います。

(稲垣) また来てほしいです。

(柳町) 本日はGHルピナスにお集まりいただき、ご意見・ご感想をいただきありがとうございました。今後どうぞよろしく願い申し上げます。

これで令和7年度GHルピナスの地域連携推進会議を終了いたします。

記録者：柳町美恵子